



放送研究会の今をお届け！

新体制が始動！



キャリア座談会全体写真



座談会の様子



OBOGキャリア座談会

6月30日、現役生とOBOGの交流を目的に「OBOGキャリア支援座談会」を開催しました。テレビ局にお勤めの中山様、桜田様、清水様にご参加いただき、20名の現役生が3グループに分かれて交流しました。座談会では、お仕事内容や学生時代の経験、就職活動について、普段なかなか聞けない貴重なお話を伺いました。少人数での交流を通じて学生から直接質問する機会もあり、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。参加者からは「就職活動への考え方が変わった」「将来を考えるきっかけになった」との声が寄せられ、今回生まれたつながりを、今後も大切にしていきたいと思えます。ご多忙の中ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

★OB会長中山様コメント↓

OB・OG会として「現役のみなさんの就職活動を支援できないか」と考え、第1回「キャリア座談会」を実施しました。

今回は、前OB・OG会長でテレビ朝日の桜田智久さん、NHKの清水和久さんと私の3人で登壇し、学生時代の経験や就職活動、現在の仕事などについて、ざっくばらんに話ししました。少人数グループでの意見交換では多くの質問が寄せられ、将来について真剣に考える現役生の熱意に触れることができました。

数年前の同様の企画をきっかけに交流した学生が、この春NHKに入局したこともあり、この座談会が現役生の一步を後押しする機会になればと願っています。準備から当日の運営まで完璧に対応してくれた現役幹事の皆さんに心から感謝しております。今後も職種の幅を広げながら、こうした取り組みを発展させていきますので、「我こそは」というOB・OGの皆さま、ぜひお力をお貸しください。



集合写真



P・永田千依（右） D・中里柊平（左）



前発のマスコットキャラクター



有志映像作品『光照らす影』



前期番組発表会

6月27日、前期番組発表会『Couldn't』が開催されました。本作は、幼い頃に父親を亡くした主人公・ヒロトのもとに「緑の魔人」が現れ、その出会いをきっかけに世界が反転していく物語です。交差する二つの世界を舞台に、ヒロトは父親の死の真相を探っていきます。

72期・73期で行う番組発表会としては今回が最後となり、72期にとっても最後の番組発表会となる会員も多いことから、会場はいつも以上の熱気に包まれました。

★プロデューサー永田千依コメント↓

前期番組発表会でプロデューサーを務めた永田千依(ながた ちより)です。実は会長もやっているので、私にとってこの番発が本当に最後の引退番発となりました。元々自分は技術部なのでディレクターをやるのが普通なのですが、柊平くんがありがたくプロデューサーとして誘って貰えたので長年の夢だったプロデューサーとして素晴らしい幕引きを迎えることができました。

私は本当に面倒くさがり屋で何かに熱中しようとしてもできなくて、受験勉強も中途半端で第一志望に落ちて、典型的な現代っ子って感じでした。悪い意味で。けれど立教に入って放送研究会に所属して、命が燃えるほどサークル活動にのめり込んでいきました。何かを本気で愛することができるようになったことが嬉しくて、そんな自分が誇らしかったです。



前期番組発表会「Couldn't」は自分を愛する理由をくれた放送研究会への感謝の気持ちを込めた番発でした。放送研究会が心の底から大好きです。そして、放送研究会の歩みを支えてくださったすべての皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。

★ディレクター中里柊平コメント↓

前発2026「Couldn't」でディレクターを務めさせていただきました、中里柊平と申します。

「Couldn't」には、「できなかった」という意味があります。しかし、このタイトルにはただ過去を振り返るだけでなく、「できなかったことも、今の自分たちなら“できる”に変えられる」という思いを込めました。これまでの放研生活で実現できなかったことや、思うようにいかなかった経験もすべて力に変え、今の私たちだからこそできる番発をつくりたいと考えました。ディレクターとして悩むことも多くありましたが、相棒のプロデューサーをはじめ、多くの方々に支えていただきながら、一つの番発をつくり上げることができました。

この前発で生まれた経験や思いが73期、そして74期へと受け継がれ、これからの放研で新たな「できる」を生み出すきっかけになれば嬉しいです。関わってくださったすべての皆様、本当にありがとうございました。



ミニ番組発表会の様子



夏期番組発表会全体写真



P・河合陸(右) D・芳賀仁美(左)



ミニ番組発表会

7月11日、12日、13日、18日の4日間にわたり、ミニ番組発表会が行われました。放送研究会では、1年生が入会すると、まず「講座」に参加します。講座では、1年生が「弟子」となり、「師匠」と呼ばれる2年生の指導のもと、放研で活動するために必要な知識や技術を学びます。今回のミニ番組発表会は、5月に行われた講座イベントをきっかけに始まった、約2か月間の講座活動の集大成です。

アナウンス講座では、マイクの持ち方や発声、演技、企画、MCなどの技術を師匠から学びます。そして、講座のメンバーで意見を出し合いながら、番組の企画や構成、ストーリーを考え、台本も一から作り上げていきました。

ミニ番組発表会では、コメディから青春ストーリー、サスペンスなど様々な人物や年齢の役を演じ、企画ではラップバトルや即興短歌など、斬新なアイデアがたくさん見られ、クオリティの高い作品が多く発表されました。

このミニ番組発表会をもって、1年生はアナウンス資格を取得し、これからは、番組発表会などの本番でもアナウンス部として活動できるようになります。

これからの1年生の活躍にも、ぜひご注目ください！

★アナウンス長植田夏帆コメント↓

ミニ番組は1年生にとって、放研での活動の第一歩となる舞台です。人前に立つことに緊張した人もいたと思いますが、全員が堂々と発表していて、とても頼もしく感じました！同期と師匠が協力しながら約2ヶ月間頑張ってきたことも伝わってきました。演技はもちろん、企画内容にも工夫が凝らされていて、どの講座も個性的で面白かったです！🌟これからの74期の活躍が楽しみだなと感じたミニ番組でした！



夏季番組発表会

8月26日に夏期番組発表会『笑国志』が行われました。謎の手紙で集められた参加者たちが「笑い」を武器に日本全土の陣取りゲームに挑むという物語で、74期にとっては初の番組発表会、そして73期にとって初めての後輩との番組発表会となりました。172名もの放研会員がリハ職として参加し、大きな盛り上がりを見せました。

★プロデューサー河合陸コメント↓

2026夏番Pを努めさせていただきました、河合陸です。74期のみんなに様々な経験をしてほしい、リハ職のみんなにとにかく楽しんでほしいという思いから今回の台本を作り上げました。それをもとに各々が自分の役割を全うし、素晴らしい番組になったと思っています。プロデューサーとしても誇らしい限りです。

この経験を活かして74期のみんなには更に羽ばたいて欲しいですし、73期のみんなにもより放研生活を楽しんで欲しいです。172名のリハ職の皆さんには感謝でいっぱいです。ありがとうございました！

★ディレクター芳賀仁美コメント↓

2026夏番Dを務めさせていただきました、芳賀仁美です。本番日の変更などうまくいかないことも多々ありましたが172名という多くのリハ職のみんなと無事、8/26に夏番を成功させることができました。74期にとっては初めてとなる番発で、生き生きとリハに参加する姿や73期の先輩として引っ張る姿を見て、1放研会員としてこれからの放研がますます楽しみになりました🌟

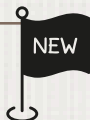
この番発を通して、改めて私は放研が大好きだなと思いました。そんな素敵な夏をありがとうございました！

お問い合わせ

ご不明点やご相談等がございましたら、下記よりお気軽にご連絡ください。

メールアドレス：rbcob2026@gmail.com

今後の活動予定



- ・9月25日（金）SPF決起集会
- ・11月2日（月）ミス・ミスター立教コンテスト
- ・11月3日（火）SPF外ステージ
- ・11月4日（水）SPF中ステージ

※日程は変更になる場合がございます。最新情報は各SNSをご覧ください。

Instagram : https://www.instagram.com/rikkyo_houken/

X : https://x.com/rikkyo_rbc?s=21

活動について

私たち立教大学放送研究会は、70年以上の歴史を持つ伝統あるサークルとして、毎年11月の学園祭においてステージイベントの企画・制作・運営を行っております。

近年では、芸能人ゲストを招いた企画や、大規模な映像・音響演出など、ステージのクオリティ向上に向けた取り組みを続けております。

しかしながら、物価の高騰や機材費の上昇により、運営費の確保が大きな課題となっております。現役生一同、限られた予算の中で最大限の工夫を重ねておりますが、より良いステージを実現するためには、さらなる支援が必要な状況です。

ご支援のお願い

ご挨拶・御礼

平素より立教大学放送研究会の活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、OB・OGの皆様とのつながりをより一層深めるとともに、現役生の活動を広く知っていただくため、今年度も会報誌を作成いたしました。

ご支援の方法

ご寄付：一口2,000円より承っております

ご寄付に際しまして、銀行振込によるご入金を正しく確認させていただくため、下記フォームより寄付金額および寄付者様情報のご申告をお願いしております。どうかお力添えいただけると幸いです。

<https://forms.gle/EZsb4h7Ch4b5PDf8A>

ご支援の用途

いただいたご厚意は、以下の活動資金として活用させていただきます。

- ・映像、音響、照明機材のレンタル費用
- ・ステージで放映する映像の制作費
- ・衣装、大道具、小道具の購入や製作費

返礼について

ご支援いただいた皆様には、感謝の気持ちを込めまして、学園祭ステージへご招待いたします。ぜひ当日ご来場いただき、学生たちの晴れの舞台をご覧いただければ幸いです。

【最後に】

放送研究会の活動は、OB・OGの皆様が築いてくださった歴史の延長線上にあります。現役一同、伝統を守りながらも新たな挑戦を重ねていくため、どうか温かいご支援を賜れますと幸いです。